

石巻市の牡鹿半島南部に位置し、捕鯨の拠点地域である同市鮎川浜のホエールタウンおしか(牡鹿地域拠点エリア)内に、石巻市が再建を進めていた「おしかホエールランド」が7月22日オープンしました。前日まで天気が悪かったのですが、オープン当日は天候も回復し、新しい船出にふさわしい一日となりました。

オープンに先立ち行われた記念式典は、三密を避けた形で席が配置され、また、来賓者も人数を絞った形で実施されました。



来賓の方々



テープカットの様子

「おしかホエールランド」は平成2年に開館し、牡鹿、鮎川の観光の大きな目玉として多くの人々に親しまれてきた施設ですが、東日本大震災の津波により建物が全壊しました。

平成30年、石巻市は再建工事を始め、9年4カ月の時を経て、クジラの生態や特徴、牡鹿半島の鯨文化、歴史を学ぶことができる素敵な施設として生まれ変わりました。

施設に入るとまず、マッコウクジラ骨格標本がお出迎えしてくれます。また、CGを使ったクジラの生態の解説や、鯨とともに歩んできた牡鹿の街の鯨文化・歴史を写真や映像で学ぶことができ、おしかホエールランドは大人も子どもも楽しめる施設となっています。



ホエールランド入口



マッコウクジラ骨格標本

このたび、ホールランドオープンにあたり、名誉館長を委嘱された加藤東京海洋大学名誉教授と学芸員の山本さんにお話をお伺いしました。

【加藤名誉教授】

このたび、名誉館長を拝命致しました加藤です。

私は、旧（財）鯨類研究所、水産庁遠洋研究所、東京海洋大学で鯨類の研究を行ってきました。現在は、（一財）日本鯨類研究所の顧問をしています。震災前までは、この鮎川に日本鯨類研究所の支所があり、また、鯨類科学調査の調査団長、調査総括としても鮎川を何度も訪問している思い入れの強い場所であり、その地で復興されたホエールランドの名誉館長に就任することは、気持ちが引き締まる思いです。

当時と立場は変わりましたが、気持ちを新たに頑張りたいと思います。

【山本学芸員】

このたび、学芸員として、働くことになった山本です。

鮎川は学生時代にフィールドワークを行った場所です。加藤名誉館長は、私の大学時代の恩師であり、その下で働くことになり、身が引き締まる思いです。学生時代に学んだ鯨の知識を活かせる仕事につくことができましたので、鮎川に多くの人が集まってくれるような施設を運営できるよう頑張りたいと思います。



加藤名誉館長



山本学芸員

今年の夏休みは例年よりも短いですが、鮎川を訪問し、鯨文化に触れてみてはいかがでしょうか。また、「おしかホエールランド」の隣には、食事ができる「観光物産交流施設（Cottu）」や「牡鹿半島ビジターセンター」もありますので、楽しい一日が過ごせると思います。

おしかホエールランドの利用案内は以下のとおりです。

【利用案内】

開館 9：00－16：00

休館日 水曜日（水曜日が祝日にあたる場合はその翌平日）

入館料 大人 400 円（360 円）、大学生・高校生 300 円（270 円）、中学生・小学生 200 円（180 円）【未就学児無料】

※（）内は団体（20 名様以上）1 名様当たりの料金

[ホエールタウンおしか HP アドレス] <https://oshika.miyagi.jp/>

※おしかホエールランド、観光物産交流施設（Cottu）、牡鹿半島ビジターセンター共通